2018年12月期 第1四半期決算説明会



プレミアムボート EXULT43 ヤマハ発動機株式会社 2018年5月10日 (証券コード:7272)

本日ご説明する内容

2018年12月期 第1四半期決算

取締役

大川 達実

● 業績予想について

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき 当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変 化により大きく異なることがありえますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因 には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

経営業績: 2018年(1Q)

■ 新興国二輪車、マリン、産業用機械・ロボット事業を中心に増収・増益。

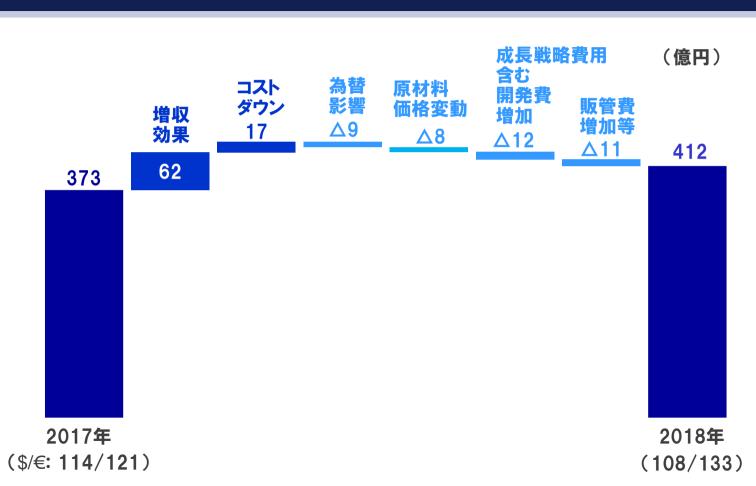
(億円)	2017年 1Q	2018年 1Q	前年比
売上高	3,860	4,056	105%
営業利益	373	412	111%
営業利益率	9.7%	10.2%	+0.5pts.
経常利益	408	401	98%
当期純利益 ※	317	324	102%

年間予想	前年比	
17,000	102%	
1,500	100%	
8.8%	△0.2pts.	
1,550	100%	
1,030	101%	

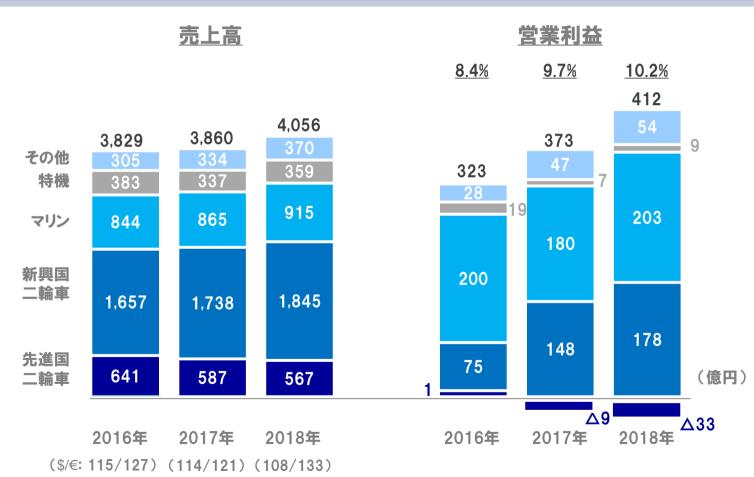
(\$•€)	114·121	108·133	_
(\$/IDR·BR\$)	13,287•3.1	13,511.3.2	_

105.130	I
13,300•3.3	-

営業利益変動要因(1Q)



経営業績:事業別売上高·営業利益(1Q)

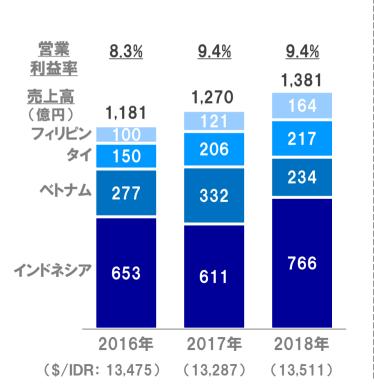


その他: 産業用機械・ロボット含む

事業業績:2018年(1Q)

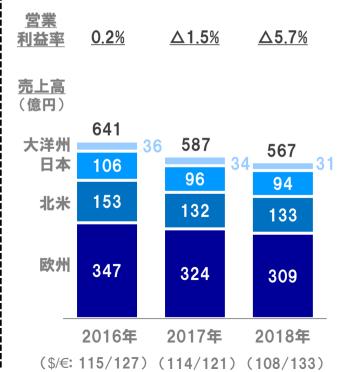
アセアン二輪車

インドネシアは回復の兆し。フィリピンの販売好調も続き、増収・増益。



先進国二輪車

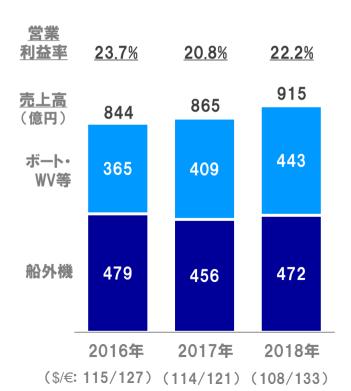
総需要の減少を受け、減収・減益。



事業業績:2018年(1Q)

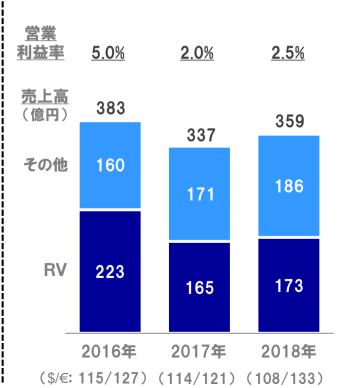
マリン

WVを中心に販売台数が増加し、 円高影響をカバーして、増収・増益。



<u>特機</u>

汎用エンジン・ゴルフカー販売台数 増加などにより増収・増益。



事業業績:2018年(1Q)

産業用機械・ロボット

マウンター、ロボットの販売台数増加により増収・増益。

営業 利益率 14.5% 16.1% 26.0% 売上高 (億円)



その他

電動アシスト自転車の商品ミックス悪化などにより、減収・減益。





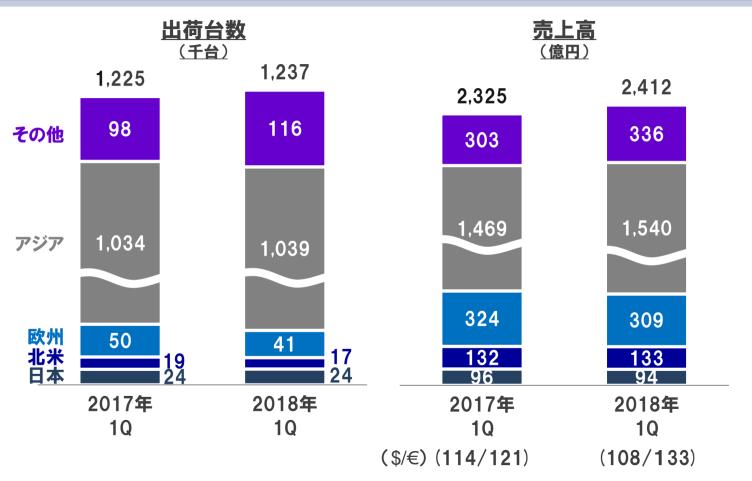
Revs Your Heart

事業別 売上高·営業利益(1Q)

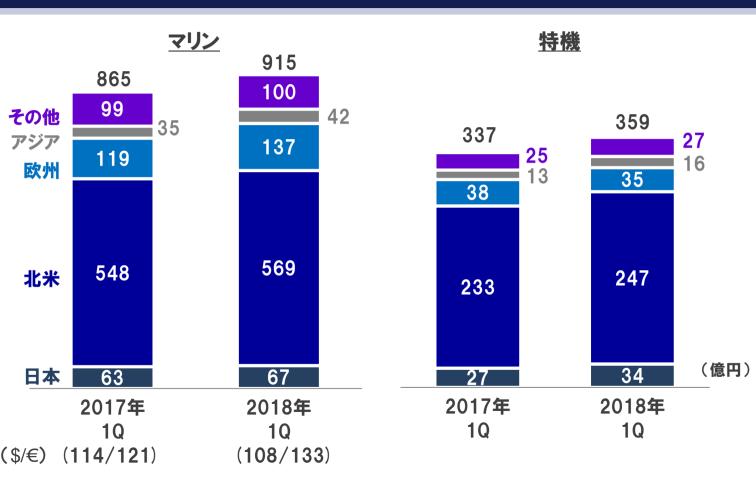
売」	L高	(億	円)
ンじー	上向		

见上尚(退円)					
	10	Q			
	17年実績	18年実績	対前年		
二輪車	2,325	2,412	87		
マリン	865	915	51		
特機	337	359	22		
その他	334	370	36		
合 計	3,860	4,056	195		
営業利益(億円)					
二輪車	139	145	6		
マリン	180	203	23		
特機	7	9	2		
その他	47	54	8		
合 計	373	412	39		
営業利益率(%)					
二輪車	6.0	6.0	0.0		
マリン	20.8	22.2	1.4		
特機	2.0	2.5	0.6		
その他	13.9	14.6	0.7		
合 計	9.7	10.2	0.5		

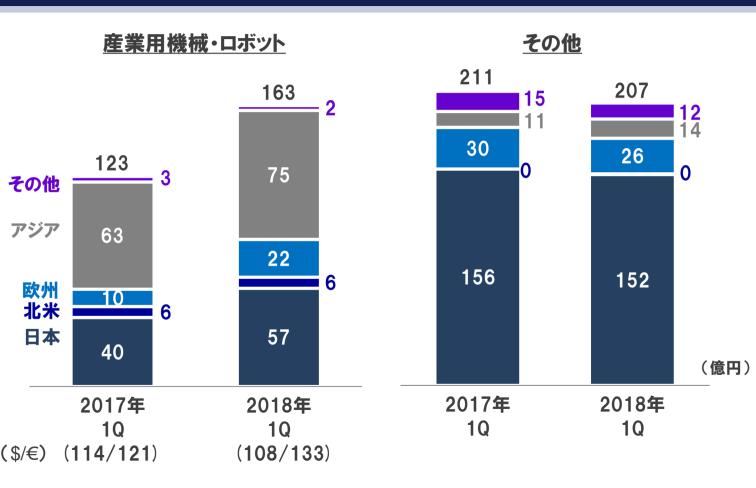
二輪車販売台数·売上高(1Q)



マリン、特機 売上高(1Q)



産業用機械・ロボット、その他 売上高(1Q)



為替影響(対前年)

	1Q(3ヶ月)			
(億円)	US\$	EURO	その他	合計
本社の輸出入にかかる為替影響	△20	23	Δ2	1
為替による仕入影響(海外子会社)	0	0	0	0
粗利益の換算影響(海外子会社)	Δ10	9	△16	△16
販管費の換算影響(海外子会社)	6	Δ7	7	6
営業利益への為替影響	△23	25	Δ10	Δ9

為替感応度 1円の変動が営業利益 に与える影響額

US\$ EURO 4**億円** 2**億円**

設備投資·減価償却費·研究開発費·有利子負債

(億円)

	17年1Q 実績	18年1Q 実績
設備投資	94	77
減価償却費	108	111
研究開発費	228	240
有利子負債	3,859	3,656
(うち販売金融分)	2,324	2,586